

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

2021年9月15日号(9月15日作成)

”電気自動車(EV)の代表銘柄:比亞迪(BYD)”

ハンセン指数構成銘柄の内、CO2排出量削減の潮流を受けて電気自動車(EV)の比亞迪(BYD)とソーラーガラスの信義光能(シンイーソーラー)は株価が好調。

BYDの今年1-6月期決算は、EVを中心とする新エネルギーの販売が急増して大幅増収だったものの、売上構成比が上昇したスマホ関連事業は電池の原料となるレアメタルの値上がりの影響を受けて粗利率が低下。全体の粗利率悪化に繋がった。自動車関連でも鋼材価格が上昇しており、粗利率の悪化に歯止めがかかるかどうか注目されよう。

半導体不足を受けて競合の自動車メーカーが販売台数を減らすなかで8月の新車販売台数は前年同月比86%増、前月比でも19%増と好調。1-6月の売上構成比で8.8%の二次充電電池および太陽光発電に係る車載バッテリー(二次充電電池)の外販は利益率も高いとみられ、今後の成長への貢献が期待される。

比亞迪(BYD)の2021年中間決算概要

	2021年1-6月 (単位:百万円)	前年同期比 増減率
売上高	89,130	+54%
売上総利益	9,920	-5%
粗利率	11.1%	-6.9ポイント
その他収益・政府補助金等	2,236	+31%
販管費	5,071	+24%
研究開発費	2,995	+19%
売上高営業費用率	9.0%	-2.3ポイント
金融費用	1,019	-41%
純利益	1,173	-29%
事業セグメント別売上高		
二次充電電池および太陽光発電		
売上構成比	8.8%	+0.8ポイント
中華圏	3,067	+106%
その他海外	4,807	+54%
スマートフォン部品・組立	42,822	+86%
売上構成比	48.0%	+8.4ポイント
中華圏	21,982	+29%
その他海外	20,840	+253%
自動車および関連製品	38,146	+25%
売上構成比	42.8%	-9.6ポイント
中華圏	34,371	+122%
その他海外	3,775	-75%



”太陽光発電の代表銘柄:信義光能(シンイーソーラー)”

信義光能(シンイーソーラー)の今年1-6月期決算は、太陽光発電のソーラーガラスの販売量増加および平均販売価格の上昇により、売上が前年同期比75%増、純利益が同約2.2倍と堅調だった。

その一方、4-6月には懸念材料が見え始めた。太陽光発電の導入コストは、昨までは継続的な生産技術の革新によって低下してきたが、サプライチェーンの混乱に伴う出荷遅延や輸送の不確実性により原材料のポリシリコンなどソーラーモジュールの価格が高騰。導入コストの上昇が中国では太陽光発電の開発ペースの鈍化に繋がっている。外国からも生産拠点を中国に集中させるリスクが意識され始めた。

これらの逆風に対して、同社は売上高営業費用率を前年同期比で横ばいとするなどコスト管理の強化で対応。今後は粗利率など利益率の動向が注目されよう。

信義光能(シンイーソーラー)の2021年中間決算概要

	2021年1-6月 (単位:百万HKD)	前年同期比 増減率
売上高	8,075	+75%
売上総利益	4,470	+104%
粗利率	55.4%	+8.1ポイント
その他収益	132	+91%
販売・研究開発費	250	+83%
一般管理費	356	+71%
売上高営業費用率	7.5%	横ばい
純利益	3,072	+118%
事業セグメント別売上高		
ソーラーガラス販売		
売上構成比	6.598	+89%
中華圏	81.7%	+6.3ポイント
中華圏	4,494	+79%
その他海外	2,104	+116%
ソーラーファーム事業	1,477	+30%
売上構成比	18.3%	-6.3ポイント
電力販売	679	+145%
電力買取補償(タリフ)	704	+111%
設計・調達・建設受託(EPC)	94	+280%



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全81銘柄)における終値の今年3月末騰落率

前回基準日: 20210831 基準日: 20210914

順位	3月末騰落率・上位10銘柄	(%)	前回順位
1	比亞迪 [BYD]	59.6	1
2	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	42.8	8
3	中国中信 [シティック]	40.1	4
4	信義光能 [シンイー・ソーラー]	40.0	2
5	吉利汽車控股 [ジーリー・オートモービル・HDS]	35.3	3
6	舜宇光学科技(集団) [サニー・オプティカル・テクノロジー]	28.2	5
7	創科実業 [テクトロニック・インダストリーズ]	26.8	6
8	安踏体育用品 [アンタ・スポーツ・プロダクツ]	26.3	7
9	藥明生物技術 [ウーシー・バイオロジクス・ケイマン]	20.5	9
10	香港取引所	11.4	16

順位	3月末騰落率・下位10銘柄	(%)	前回順位
81	Koolearn Technology Holding (新東方在線)	-74.0	81
80	Kuaishou Technology (快手)	-63.8	80
79	汽车之家 (Autohome)	-52.9	79
78	阿里健康信息技术 [アリババヘルス・インフォメーション・テクノロジー]	-46.5	78
77	Ping An Healthcare and Techn (平安好医生)	-43.6	77
76	Haidilao International Holdi (海底撈)	-40.9	76
75	金山軟件 [キングソフト]	-39.9	75
74	中国平安保險(集団) [ピンアン・インシュアランス]	-36.6	71
73	金沙中国 [サンズ・チャイナ]	-35.8	74
72	Weimob Inc (微盟集団)	-31.5	72

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2021年9月の中国の経済指標】

- 9月1日(水)
 - ・8月財新製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.3、結果49.2
- 9月3日(金)
 - ・8月財新サービス部門購買担当者景気指数(PMI): 前回54.9、結果46.7
- 9月7日(火)
 - ・7月貿易収支: 前回+565.8億USD、結果+583.4億USD
 - ・7月外貨準備高: 前回3.235兆USD、結果3.232兆USD
- 9月9日(木)
 - ・8月消費者物価指数(CPI) <前年同月比>: 前回+1.0%、結果+0.8%
 - ・8月生産者物価指数(PPI) <前年同月比>: 前回+9.0%、結果+9.5%
- 9月9日(木)-15日(水)
 - ・8月資金調達総額: 前回1.06兆元、結果2.96兆元
 - ・8月新規人民元建て融資: 前回1.08兆元、結果1.22兆元
 - ・8月マネーサプライM2 <前年同月比>: 前回+8.3%、結果+8.2%
- 9月15日(水)
 - ・8月新築住宅価格 <前月比>: 前回+0.3%、結果+0.16%
 - ・8月小売売上高 <前年同月比>: 前回+8.5%、結果+2.5%
 - ・8月鉱工業生産 <前年同月比>: 前回+6.4%、結果+5.3%
 - ・1-8月固定資産投資 <前年同期比>: 前回+10.3%、結果+8.9%
 - ・1-8月不動産投資 <前年同期比>: 前回+12.7%、結果+10.9%
- 9月22日(水)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.85%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.65%
- 9月28日(火)
 - ・8月工業企業利益 <前年同月比>: 前回+16.4%
- 9月30日(木)
 - ・9月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.1
 - ・9月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回47.5

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

〈日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項〉

- ・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。